

高知病院

【施設概要】

当院は明治 31 年 3 月 31 日（1898 年）に高知陸軍衛戍病院として創設されました。その後、国立病院・療養所の統廃合により平成 12 年 10 月 1 日に旧国立高知病院と旧国立療養所東高知病院が統合し国立高知病院として発足。平成 16 年 4 月 1 日に国立病院等の独立行政法人化に伴い、独立行政法人国立病院機構高知病院（一般 402 床 [うち重心 120 床]、結核 22 床）となる。



平成 23 年 3 月 17 日 高知県知事から「災害拠点病院（DMAT 病院）」に指定される。近年発生するかもしれないといわれている南海トラフ地震に備え、現在に至っております。

【施設環境】

当院は、高知県のほぼ中央に位置する県都高知市の西端部に存し、東には高知城を望み、北に向かっては遥かに四国山脈の山並みに連なる小丘陵地域にあります。国道 56 号線に隣接すると共に、朝倉駅から徒歩 10 分という利便性のある場所であり、周囲は住宅や緑に囲まれています。また、近くには高知大学（教育学部）をはじめ、小・中・高等学校や県営・市営の住宅なども整備されていることから医療環境としては好適の地といえます。

【放射線科概要】

放射線治療医 1 名、診療放射線技師 10 名（男性 9 名、女性 1 名）、看護師 1 名、受付事務員 1 名の 13 名で日々の業務を行っております。

2019 年 3 月まで放射線診断医が 2 名在籍しておりましたが、定年退職と異動に伴い 4 月より放射線診断医が不在となりました。日々の読影は高知医大からの派遣医師（パート）と遠隔読影（6 月 10 日開始）にて運用している状況です。

【健康フェスタ】

当院では2009年より健康フェスタを開催しております。診療科の先生方による市民公開講座、全職員による体験コーナー・健康相談コーナー・こどもコーナー・パネル展示・スタンプラリー・展示コーナー・販売コーナーと催し物満載で、子供から大人まで、参加された方々に楽しんでいただきながら当院を身近に感じてもらえるよう行っております。今回、放射線科は乳腺科の先生方の協力を得まして無料のマンモグラフィー検診を行いました。

